

獣害対策の実証実験について

◆趣 旨

全国的に課題となっている獣害対策として、新たに開発された製品について、**自治体としては日本で初めて**の本格的実証実験を鈴鹿市で行います。

◆と き

令和8年7月30日(木)～8月下旬(稲刈り終了まで)

◆ところ

実施場所:鈴鹿市岸田町地内(別添地図のとおり)

◆事業者

理研香料工業(株)、(株)無臭。

現在、日本の農業における大きな問題である獣害ですが、本市においても山間部を中心に、甚大な被害を及ぼしており、耕作者の営農意欲の低下をもたらし、潜在的な耕作放棄地増加の原因のひとつとなっています。

現状、獣害対策の主流は、電気柵など侵入を物理的に遮断するものですが、柵を設置できない道路や柵の下を掘って通るなど、防ぎ切れていないのが現状です。

また従来からある忌避剤(ヒトデを粉砕したものやオオカミの尿)についても、慣れや持続性の問題などから、効果が限定的と言われています。

今回の実験では従来の忌避剤とは違い、シカ・イノシシが慣れず、持続性もあることから収穫期もカバーできるものとなっております。またヒトデやオオカミの尿のように悪臭をもって忌避させるものでなく、天然の精油を使い、ハーブのような香りがすることから、良好な耕作環境にも資するものであると考えています。

今回は、忌避剤を開発した**理研香料工業(株)**と、その企画・販売を行う**(株)無臭。**が、自治体としては日本初の本格的実証実験を行い、本市において新たな獣害対策の可能性を探ろうとするものです。

実験にあたって、セレモニーなどは計画しておりませんが、取材の際は随時職員が対応させていただきますので、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

現地では**「見て」「聞いて」「嗅いで」**いただきながら、その可能性を見ていただければと考えております。

[問い合わせ先]

鈴鹿市産業振興部農林水産課 担当 佐々木・松田・原田 直通電話 382-9017

鈴鹿市農業委員会事務局 担当 中西・吉村 直通電話 382-9018